

## Contents

● 巻頭言 7年目を迎えて

● Topic 平成27年度 福井CST地域支援拠点(小学校)が決定しました

- Pick Up! 1. 連携機関のご紹介  
2. 上級 CST(福井)を講師とした教職員研修講座開催
- 受講者だより 「第12回福井 CST 合同研修会」
- お知らせ 「第9回福井 CST 公開セミナー」開催のご案内

## 巻頭言

### 7年目を迎えて

福井CST養成・支援事業実施主担当者  
国立大学法人 福井大学 教育地域科学部 教授  
浅原 雅浩

平成 21 年度に、福井大学と福井県教育委員会が共同で独立行政法人(現、国立研究開発法人)科学技術振興機構(以下、JSTと略記)の公募事業「理数系教員(コア・サイエンス・ティーチャー、以下、CSTと略記)養成拠点構築事業」に応募したところ、第1期の第1次に、お茶の水女子大学・東京都教育委員会、岐阜大学・岐阜県教育委員会、滋賀大学・滋賀県教育委員会、鹿児島大学・鹿児島県教育委員会とともに採択されました。平成 21 年 9 月から事業を開始し、事務局体制を整えるとともに、当時、本事業の研究員として協力頂いた向井健治氏(元中学校長、福井市学校教育課長、理科支援員コーディネーター等を歴任)とともに、採択された事業計画書をもとに、「CST 養成・支援の手引き(第1版)」を作り上げ、平成 22 年度より、学部生、大学院生、および、実務経験 7 年以上の小中理科教員を対象とした CST 養成プログラム受講者の全県公募を開始し、平成 24 年 3 月には、本県初の初級、中級、および上級 CST を輩出するに至りました。

平成 21 年度に採択された、2 次採択 2 件を含め、7 都県の養成プログラムおよび養成後の CST の活動に関する考え方、捉え方は、各地域の要請および状況に合わせた形、更には、異なる哲学で作られてきた申請書の具現化のため、それぞれ独自の進化を続け、平成 24 年度末に JST からの支援終了後もそれぞれの地域および考え方に即した形で、継続されています。

福井県では、それぞれの選択した知識・技能に関する講座を受講し、各自が授業公開研究会を主宰し、また、地域の授業公開研究会に参加したり、地域の理科教育支援活動を各自の可能な範囲で支援していくことにより、CST となった後も自らが自己研鑽を継続していけるようなシステム化を目指しています。また、本プログラムの受講を通じて、県内の意を同じくする同僚教員間のネットワーク構築のみならず教育研究機関との個人的なネットワーク形成をも視野に入れたシステムを目指しています。

今後も、福井大学が文部科学省事業として採択されている「知(地)の拠点整備事業」の支援を受けつつ、地域の理科教育力の向上に資する CST 養成・支援事業を、県内の関連協力機関とともに継続してまいります。

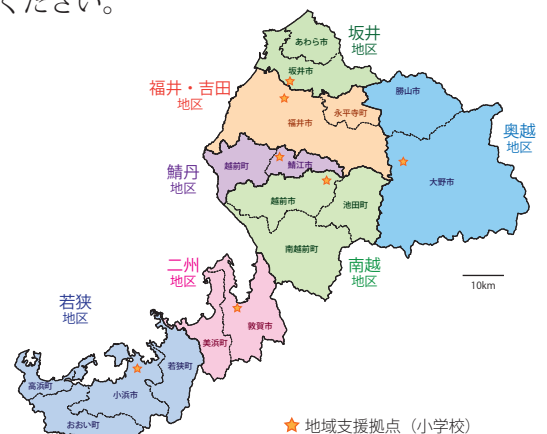
福井大学と福井県教育委員会は、一緒に福井県の次世代を支えて下さる皆さんをお待ちしています。

## Topic 平成27年度 福井CST地域支援拠点(小学校)が決定しました

地域支援拠点(小学校)では、CST が実施する実験講習会や研修会、親子による科学イベントなどがすでに開催されており、各拠点での実施が予定されています。今後にご期待ください。

### 平成 27 年度 地域支援拠点(小学校)一覧

地域	小学校	福井大学担当教員
坂井地区	坂井市立春江西小学校	西沢 徹(生物学)
福井・吉田地区	福井市豊小学校	山田 吉英(理科教育学) 小林 和雄(教職大学院)
奥越地区	大野市立有終東小学校	山本 博文(地学)
鯖丹地区	鯖江市吉川小学校	栗原 一嘉(物理学)
南越地区	越前市花筐小学校	三好 雅也(地学)
二州地区	敦賀市立中央小学校	浅原 雅浩(化学)
若狭地区	小浜市立遠敷小学校	大山 利夫(生物学)



## 1. 連携機関のご紹介

### 福井県自然保護センター

当センターは、奥越高原県立自然公園に位置する六呂師高原にあります。本館では里地里山やブナ原生林を再現したジオラマ、六呂師高原で見られる動物の剥製が展示してあり、自然のおもしろさを体験できます。本館周辺に広がる「自然観察の森」では湿原をはじめ雑木林や芝生広場などがあり、年間を通していろいろな動植物を観察できます。観察棟ではプラネタリウムや全国トップクラスの星空のもと県下最大の望遠鏡で天体観望が楽しめます。また、週末には六呂師高原や福井県下の豊かな自然の中で自然観察会を開催しています。当センターの様々なプログラムに参加して、福井の自然の四季折々の素晴らしさを体験していただきたいと思います。お待ちしております。



### 福井県海浜自然センター

当センターは、若狭湾や三方五湖の豊かな自然の観察や体験ができる施設です。開館から15年目の平成26年4月にリニューアルオープンし、若狭湾や三方五湖の美しい景観や水中の生き物が見られる水族館になりました。また、自然体験教室に参加すれば、若狭湾の“海”のさまざまな生き物を観察するスノーケリングや磯観察、ラムサール登録湿地“三方五湖”の環境保全活動などの体験ができます。当センターのCST講座を受講いただきながら、うみ（海湖）の生き物について学び、生物多様性の保全についての考えを深めていただきたいと思います。

## 2. 上級 CST(福井) を講師とした教職員研修講座開催

2015.7.30 福井ブロック第1回研修会(福井県教育研究所)

#### 講師コメント

今回の研修会は、小中の先生と一緒に参加するので、両方の校種で利用できる教材とデジタルコンテンツを紹介しました。教材は「内臓の大きさ説明エプロン」「道管染色液」、デジタルコンテンツは「NHK for School」「理科ねっとわーく」です。「道管染色液」で30分程度で植物の花の先端まで染色されること、「NHK for School」に鮮明な映像クリップがあることに驚かされていました。

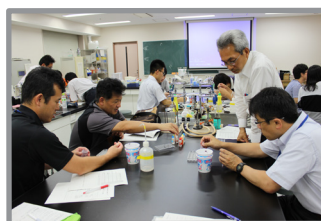


### 受講者だより

#### 「第12回福井 CST 合同研修会(第8回福井 CST 公開セミナー)」を開催しました

開催日:6月19日(金) 会場:福井大学文京キャンパス

- ワンポイントセミナー
  - 「視差について」  
教育地域科学部 准教授 山田 吉英
  - 「福井ブロック理科部会の実践報告  
—【福井県の自然観察】の活用について—」  
上級 CST 富島 修司 教諭(福井市川西中所属)
- 授業ネタ紹介
  - 「サンゴカイワレの紹介」  
教育地域科学部 教授 浅原 雅浩
- 講座受講報告
  - 「三方五湖周辺の地質を巡って」  
中級 CST 補(大学院教育学研究科1年)



「サンゴカイワレの紹介」

#### ● 受講者感想

合同研修会では、授業で使える知識や情報を得ることができるのはもちろんだが、日々実践や研究に励んでおられる他校の先生方や大学生の方々と交流させていただくことで、明日へのモチベーションを高めることができることも大きい。今回も、発表者の方々が提供して下さった話題を基に意見交換をすることができ、自分自身もこうした場で発信していける CST にならなければならないと感じた。

(上級 CST 受講者)

### お知らせ

#### 第9回福井 CST 公開セミナー (第13回福井 CST 合同研修会)

- 日時 平成27年11月1日(日) 15:15 ~ 18:00
- 会場 福井大学文京キャンパス 総合研究棟 13階大会議室
- 内容 口頭発表、ポスター・ワークショップ

- 研究発表の申し込み  
締切:10月5日(月)  
原稿締切:10月16日(金) 必着
- 参加の申し込み  
締切:10月23日(金)

参加費  
無料

申し込みに関する詳細は Web サイトをご覧ください。  
<http://www.cst-fukui.net/>

CST News Report No.17 2015.9.30 発行

編集・発行・印刷 福井大学 CST 企画運営事務局  
〒910-8507 福井市文京3丁目9番1号 ☎ 0776-27-9928  
✉ cstfukui@f-edu.u-fukui.ac.jp ☎ <http://www.cst-fukui.net/>